

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

一般選考・留学生選考

| | | | |
|---------|--------|------|--------|
| 研究科 | 専攻 | 試験科目 | 参考書等持込 |
| 人文科学研究科 | 人文科学専攻 | 日本文学 | 不可 |

設問：以下の(1)～(4)の中から、自身の専門に最も関係が深い問題を一つ選び、八〇〇字以内で解答しなさい。

- (1) 古典文学を研究対象とする受験生は、次の問題に答えなさい。
『篁物語』の作者、成立時期、文学史的位置づけについて記しなさい。また、研究史をまとめた上で、今後の研究の展望を述べなさい。
- (2) 近代文学を研究対象とする受験生は、次の問題に答えなさい。
「私小説」における「調和型」と「破滅型」それぞれについて、具体的な作家名を挙げながら説明しなさい。また、こうした区分けが持つ問題点はどこにあるか、自分の考えを記述しなさい。
- (3) 日本語学を研究対象とする受験生は、次の問題に答えなさい。
契沖の定めようとした仮名遣いについて、その概要、目的、方法、後世への影響などを、まとめなさい。
- (4) 国語科教育を研究対象とする受験生は、次の問題に答えなさい。
中学校・高等学校における「読むこと」の問題点について先行研究を踏まえて論じるとともに、今後の「読むこと」の方向性について述べなさい。なお、中学校または高等学校、(近代以降の)文学的文章または古典を「選ぶ」と。

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

| | |
|-------|----------------|
| 研究科名 | 人文科学研究科 人文科学専攻 |
| 試験期別 | I期 |
| 試験区分 | 一般、留学生選考 |
| 試験科目名 | 日本文学 |

■出題の意図

以下、それぞれ設問ごとに意図を記す。

(1) 平安時代の文学研究の中でも、決してメジャーとは言えない『篁物語』を問題としたのは、現代の古典研究において、幅広く・深い知識を持っていることが重要であり、そのことを確認する意図がある。

(2) ①「私小説」という、日本近代文学の軸となる、最低限の知識について、「調和型」「破滅型」という形で、具体的に問う意図、②「問題点」という形で、自分の考えの記述により、自分の言葉で、自分の考えを伝える能力を問う意図、以上2点の意図を持つ。

(3) 現仮名遣い以前の歴史的仮名遣いに関する問題である。藤原定家によって定められた定家仮名遣いの不備や誤りを修正し、後世まで使用されることになる歴史的仮名遣いの基礎的な知識を問うものである。

(4) 中高「読むこと」の学習指導について、先行研究を踏まえながらその問題点を的確に整理し、改善につながる学習指導の提起ができるかを見る。

■採点のポイント

以下、それぞれ設問ごとに採点のポイントを記す。

(1) 平安時代の文学作品について、①作者、②成立時期、③文学史的位置づけ、④研究史、⑤今後の展望に①作者、②成立時期、③文学史的位置づけ、④研究史、⑤今後の展望について、正しい知識を持っているか。

(2) ①日本の「私小説」が理解できているか、②「調和型」「破滅型」の内容を理解しているか、③代表的な作家名を、それぞれ挙げられているか、④「問題点」という形で自分の考えを論理的に記述できているか、⑤日本語表記に問題がなく、文章構成がしっかりしているか。

(3) 契沖という学僧が理解できているか。また契沖以前の定家仮名遣いの問題点を把握しているか。さらに契沖の仮名遣いの以前と以後の状況を日本語史の観点から説明できているか。

(4) 国語教育の専門書や中高国語科教職課程で取り上げられる「読むこと」の問題点が整理でき、学習指導要領の趣旨を踏まえて具体的かつ効果的な学習指導が提起できているか。